

2Eの児童・生徒への支援について

-社会からの支援が得られていない子供達-

どんぐり発達クリニック、ギブテッド研究所
宮尾益知

自己紹介

▶ 小児科医

- ▶ 乳幼児健診

▶ 小児神経科医

- ▶ 対象疾患：てんかん、脳性麻痺、重症心身障害、変性疾患
- ▶ 研究テーマ：神経生理学（神経系の感覚刺激を用いた脳機能解析）

▶ リハビリテーション

- ▶ ST、OT、PT

▶ 宇都宮大学教育学部非常勤講師

- ▶ 発達障害の生理・病理

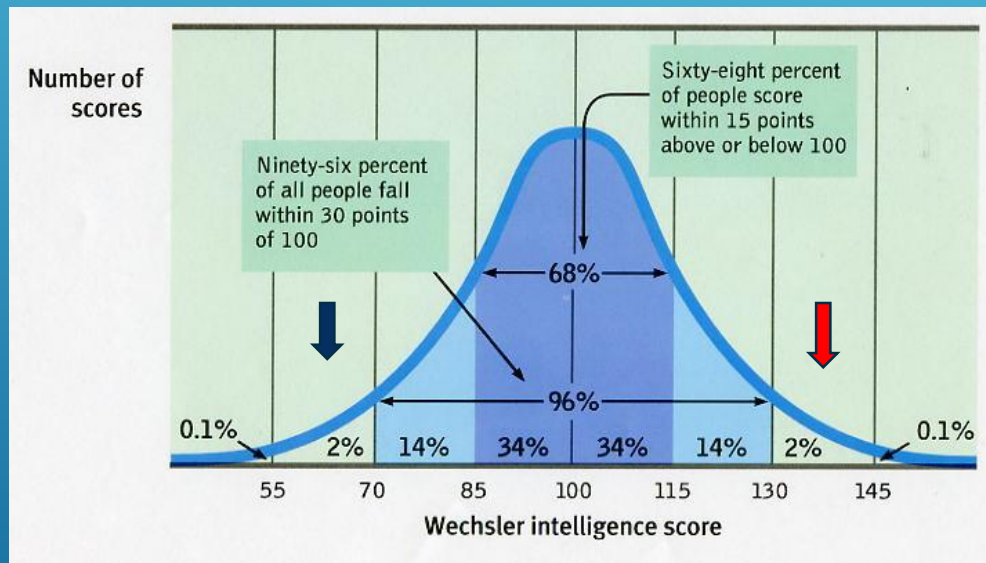
▶ 小児精神神経科医

- ▶ 対象疾患：発達障害（学習障害、自閉症スペクトラム、注意欠陥多動性障害）
- ▶ 研究テーマ：発達障害の病態と治療
 - ▶ 診療方法、薬物療法、カウンセリング、IT機器の利用（ロボット、VR）



- ▶ 個々の違った特性を持つドンぐリの実を、おおきなオークの林に育て上げていく。年齢に応じて総合的に、個々のドンぐリに合わせた治療プログラムを様々な専門家とともに構築していく。
- ▶ 外来診療
 - ▶ 発達障害専門医（小児神経科、精神神経科）→ **発達障害は認知障害である**
 - ▶ リハビリ部門（作業療法、言語聴覚士）
 - ▶ 心理部門（心理検査、心理カウンセリング、SST（VR-SST）、ロボットカウンセリング）
 - ▶ 家族サポート部門（ペアレント・トレーニング、父の会・母の会）
 - ▶ 学習部門（学習相談、学習支援）
- ▶ (株) オーク発達サポート
 - ▶ 発達障害専門家育成ネット
 - ▶ 就労支援ネット
 - ▶ ギフテッド・アカデミー

社会からの支援が受けられない子供達

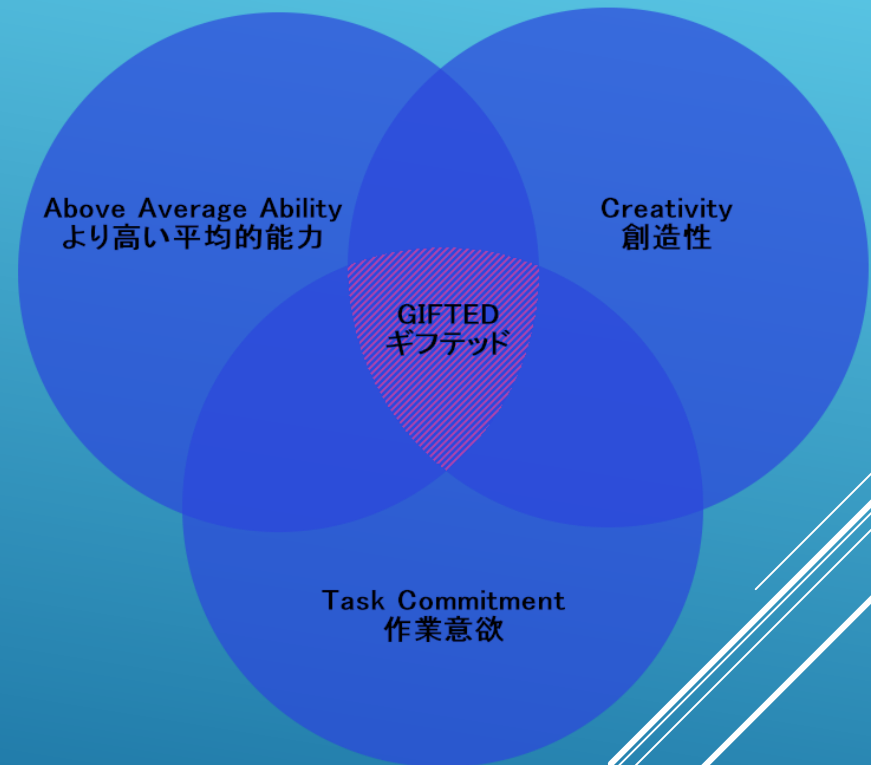


- ▶ 知的障害<70
- ▶ ギフテッド>130
- ▶ 2E：発達障害+ギフテッド

ギフテッドとは

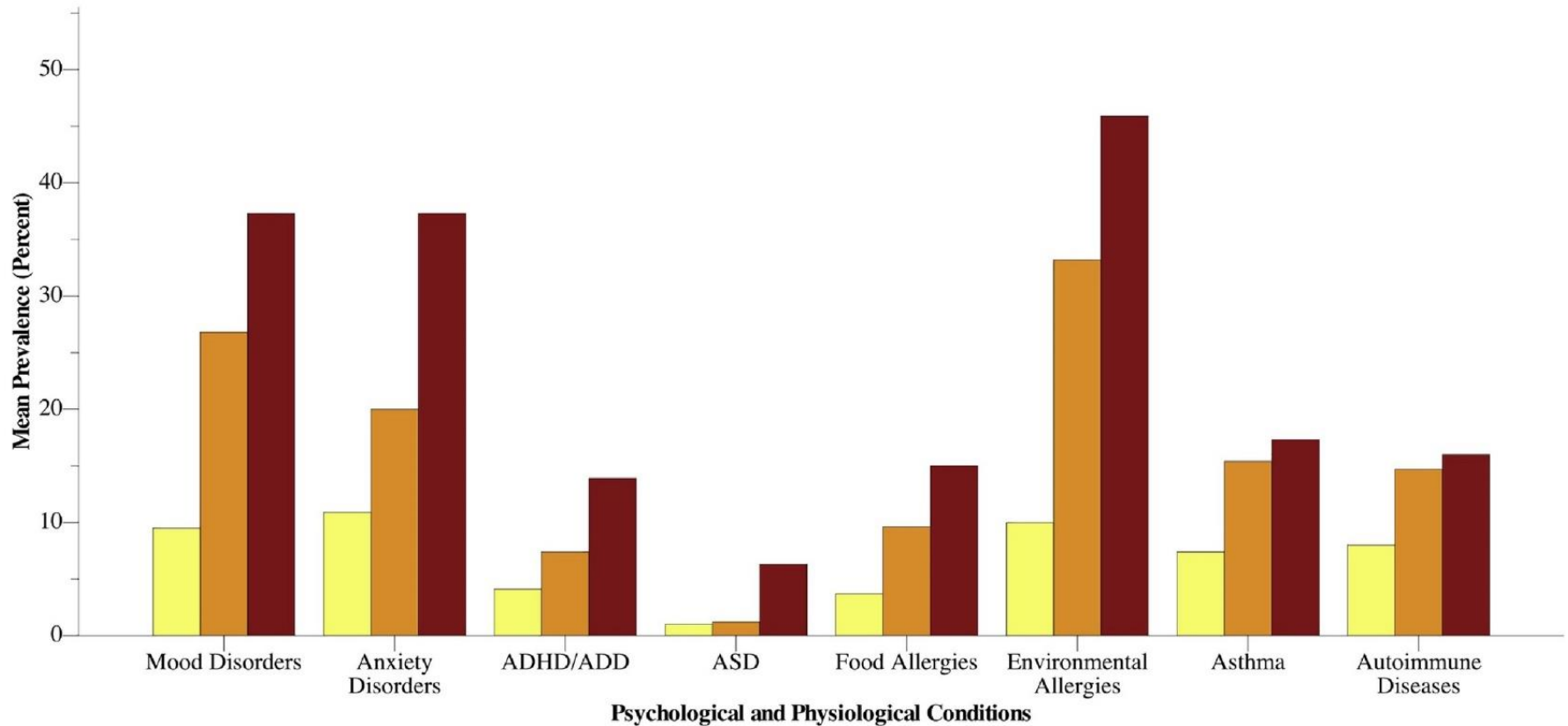
- ギフテッド (Gifted)は先天的に平均よりも顕著に高い能力 (+2SD : >130) 以上を持っている人、またその能力を指す。
- 内的な学び方の認知能力、学習能力が飛び抜けていることを指す。
- ギフテッドは、英才児などと訳されるが、日本ではそのような子供を「飛び級できるような賢い子」という一面でしか捉えられていない。
- ギフテッドは常に多様な知的刺激を切望して満ち、興味ある分野を自分の好む学習方法で極めて深く掘り下げ探求する傾向がある。結果的に学んだ分野に関しては、高いレベルに到達することが多い。以前は、IQを基準としてきたが、現在では徐々にIQだけでは知ることができないと考えられるようになってきている。

Three-Ring Conception of Giftedness



Populations Diagnosed

■ National Average: Diagnosed ■ High Intelligence: Diagnosed ■ High Intelligence: Combined (diagnosed and self-diagnosed)



High intelligence: A risk factor for psychological and physiological overexcitabilities
Intelligence, Vol 66, 8-23. 2018

発達障害とは

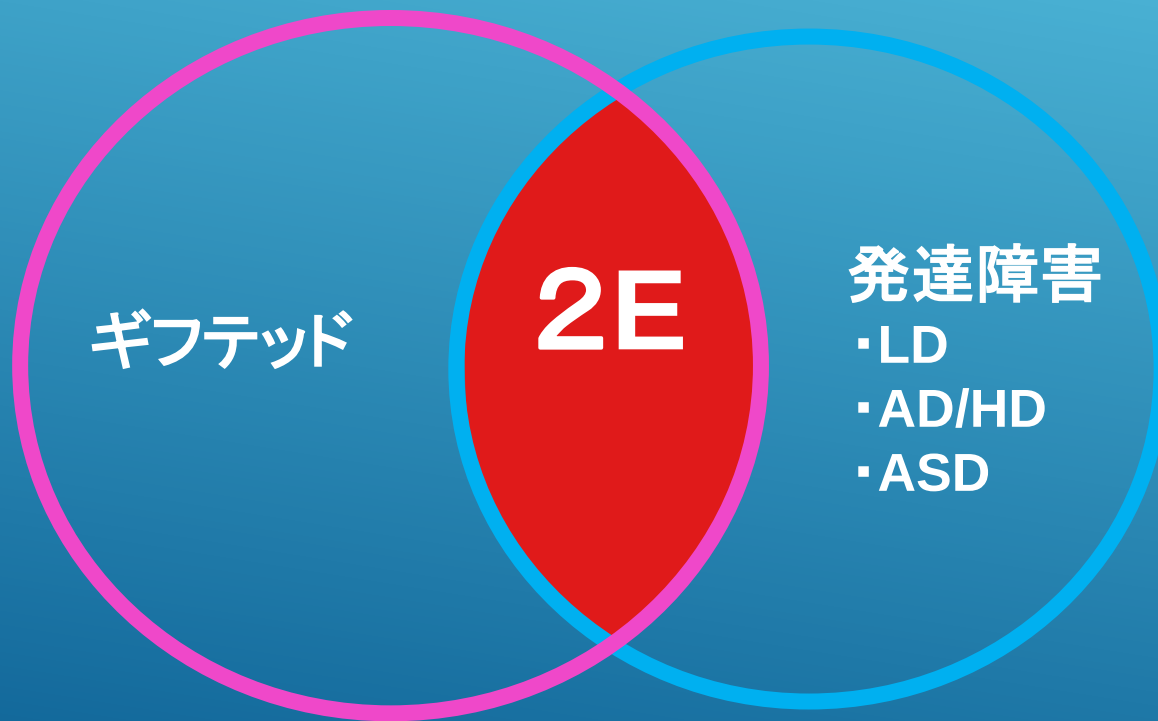
- ▶ 自閉症スペクトラム(ASD)、学習障害(LD)、注意欠陥多動性障害(ADHD)
- ▶ その他これに類する脳機能の障害であってその症状が通常低年齢において発現するものとして政令で定めるもの
- ▶ 平成24年文科省における通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育的支援を必要とする児童生徒は6.5%とされている。

発達障害者支援法

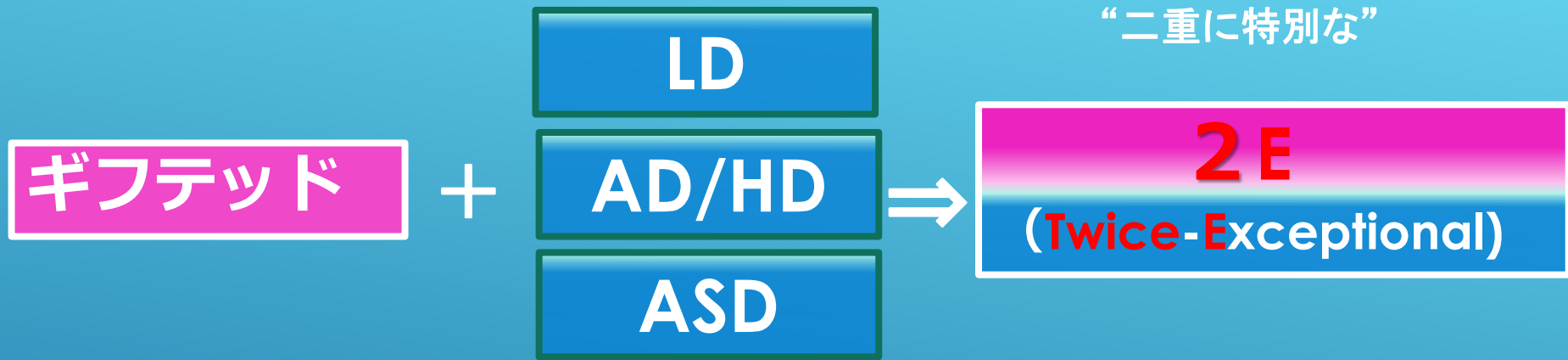
平成16年12月10日法律第167号

「ギフテッド」だけでなく「発達障害」も併せもつ
2E児では

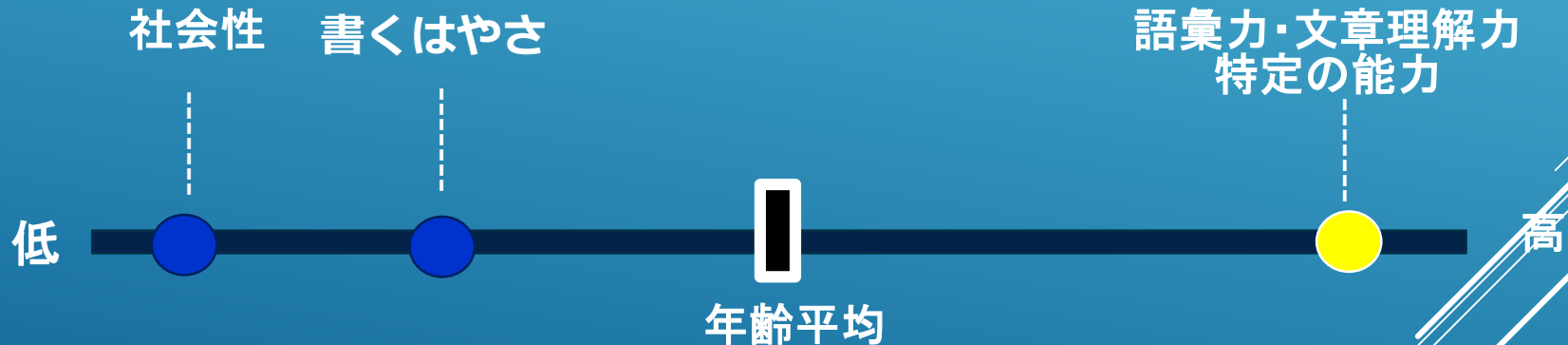
「ギフテッド」とは異なる姿が見られる



2Eとは



非同期的な発達 (Asynchrony Development)



本人の中で各能力における発達の差が顕著に見られる

小1男児

FSIQ	VCI	PRI	WMI	PSI
123	131	122	112	96

学校で困っていること	勝ち負けにこだわりが強い。短距離走で負けて怒るなど 声の大きさを制御しづらい。いつも大声で話しがち がまんすることが苦手。挙手していて先生に指名されないと涙する場面も。 消耗するとぼーっとしてしまう
家で困っていること	手先が不器用で食事、着替えに時間がかかる
	学習・コミュニケーションの様子
聞く	先生が全体に向かって話していることに対しては時にうわの空になってしまう
話す	一方的になってしまったり、想像力を発揮しつつ延々話し続けようとしたり
読む	得意。長い話もどんなジャンルも集中して読んでいる
書く	運筆は力を入れられるようになったが上手に書くことが苦手(バランスの悪い字)
計算する	得意。長い話もどんなジャンルも集中して読んでいる
推論する	「〇〇だから？」と会話の中でよく考え質問する。
	日常生活の様子
注意集中	偏りがある。関心があることには集中力を発揮するが反対に注意散漫なことも。
行動面	行動的。ただ超マイペースで多くの場合スローである。走ったりすることは好き、縄跳びは苦手。
情緒面	明るくて前向き。母に対しての依存は強い(年齢相応！？)
対人関係	関心があるが、空気が読めず余計なひと言もでてしまうなどして苦手。

2Eの子ども（症例）

- ▶ 5ヶ月でパパ、ママ、2歳半で月の満ち欠け、3歳で重力の発見、4歳で両親が死んだ後の遺産が心配して泣き出した。本は見えていたが文字を書くことはいやがり、小学校入学後も文字が書けず、忘れ物が多い、宿題が出せないことから、繰り返し体罰を受けた。家庭でしゃべらなくなり、情動鈍化、フラッシュバック、夜間覚醒などが続き、外出すると場所、場所に過去の恐い出来事が眼前に再現されるようになり受診。
- ▶ 表情なく、反応も悪い、質問にもほとんど答えない。病歴からASDの傾向があることと叱責と友達のいじめからのトラウマ反応と考え、**登校停止、親教育を行いながら、認知行動療法、薬物治療**などを続けた。1年後改善が認められ、**支援学級**に行きだし「まあいいかの気持ち」「他の子どもとのコミュニケーション」を学んだ。学習は**予備校**の上位クラスで学んだ
- ▶ **小学校4年からは、通常学級**に復帰し外来は途切れた。小学校6年の時、元気で利発そうな子どもが外来に現れた。あまりの変わりように知能検査を行った。現在受験を目指して勉強をはじめたのが、支援学級がどれだけ自分の救いであったかを述べていた。その後**国立の大学付属の中学**に合格し、順調な中学校生活を行っている。
 - ▶ IQ : 127、VIQ : 128、PIQ : 129、WM : 118、PRS 118 (WISC-III)

どんぐり発達クリニックでの治療

▶ 1, 子どもの評価過程

- ▶ 精神医学的診断（不安、鬱状態、トラウマ、発達障害）→児童精神科医
- ▶ 認知評価（知的評価、認知評価）→小児神経医、臨床心理士、言語聴覚士

▶ 2, 治療過程

- ▶ 不安、鬱、トラウマのカウンセリング、薬物療法
- ▶ リハビリ：言語療法、運動療法
- ▶ ペアレントトレーニング、SST、父の会・母の会
- ▶ 不登校をする事の意味、転校のすすめ
- ▶ 生きることの意味、特性の説明
- ▶ 学習支援：認知タイプに合わせた学習指導

宮尾益知、地域における児童・思春期、青年期の支援、どんぐり発達クリニックにおける実践、精神障害とリハビリテーション、22;111-3, 2018

交流サイト：ギフテッド・アカデミー

▶ ギフテッド・アカデミー

- 2016年より、2Eに関する情報提供や児童、保護者の交流の場としてWebサイトを開設
2019年5月よりリニューアルの予定
- 保護者の交流の場では、小学生、中学生、高校生の掲示板を作り、学校やフリースクールなどの悩みや情報共有を行なっている

▶ 参加者：62名（2019年4月現在）

▶ 対象の年齢：小学生から高校生まで

▶ これまでの活動

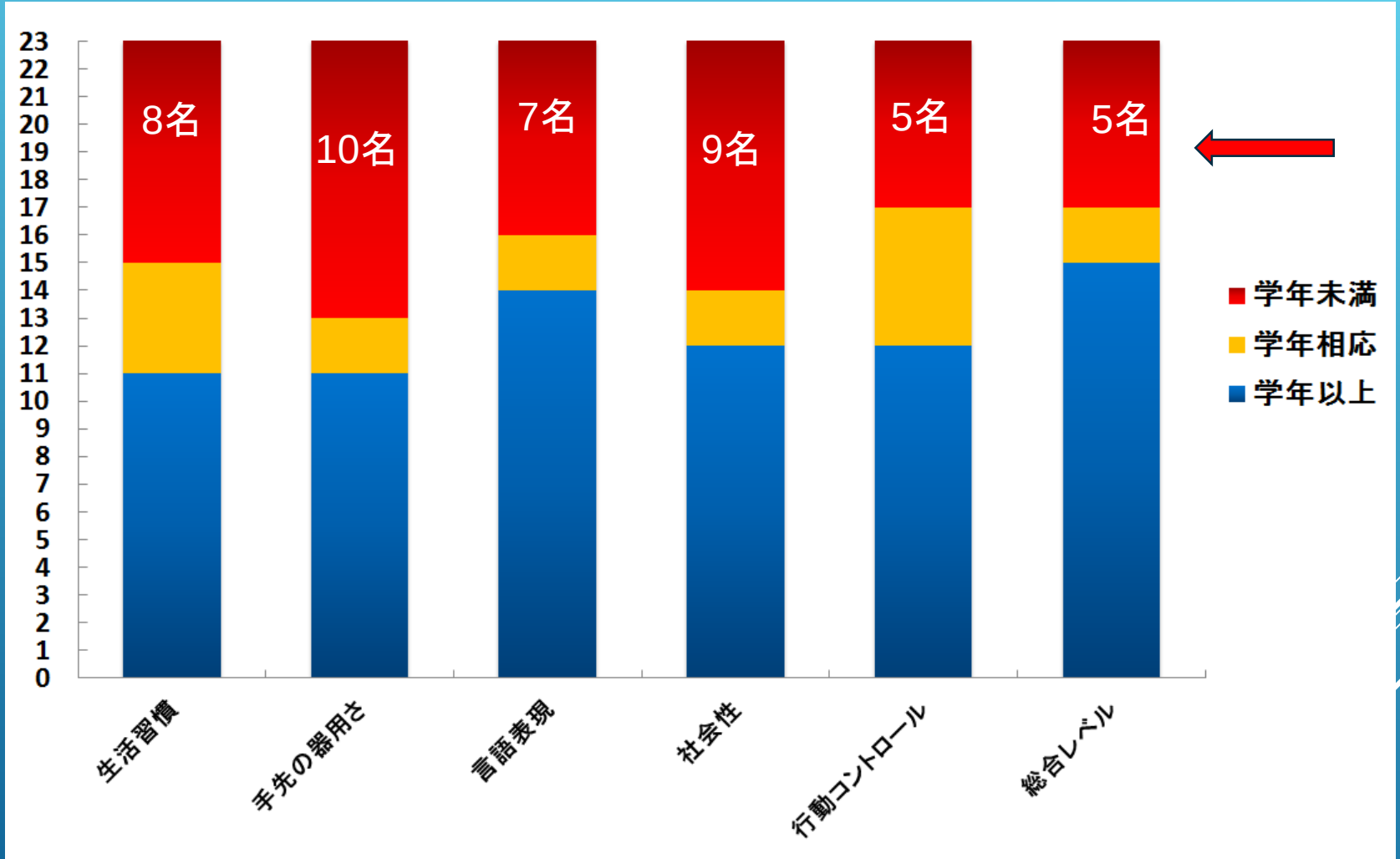
- 保護者を対象とした親の会の開催
- SST、遊びの会
- 企業（リコー）とのコラボ企画を行い子どもを対象としたVR体験会、全天球カメラ体験会などの開催



2Eの子供達の支援ニーズ

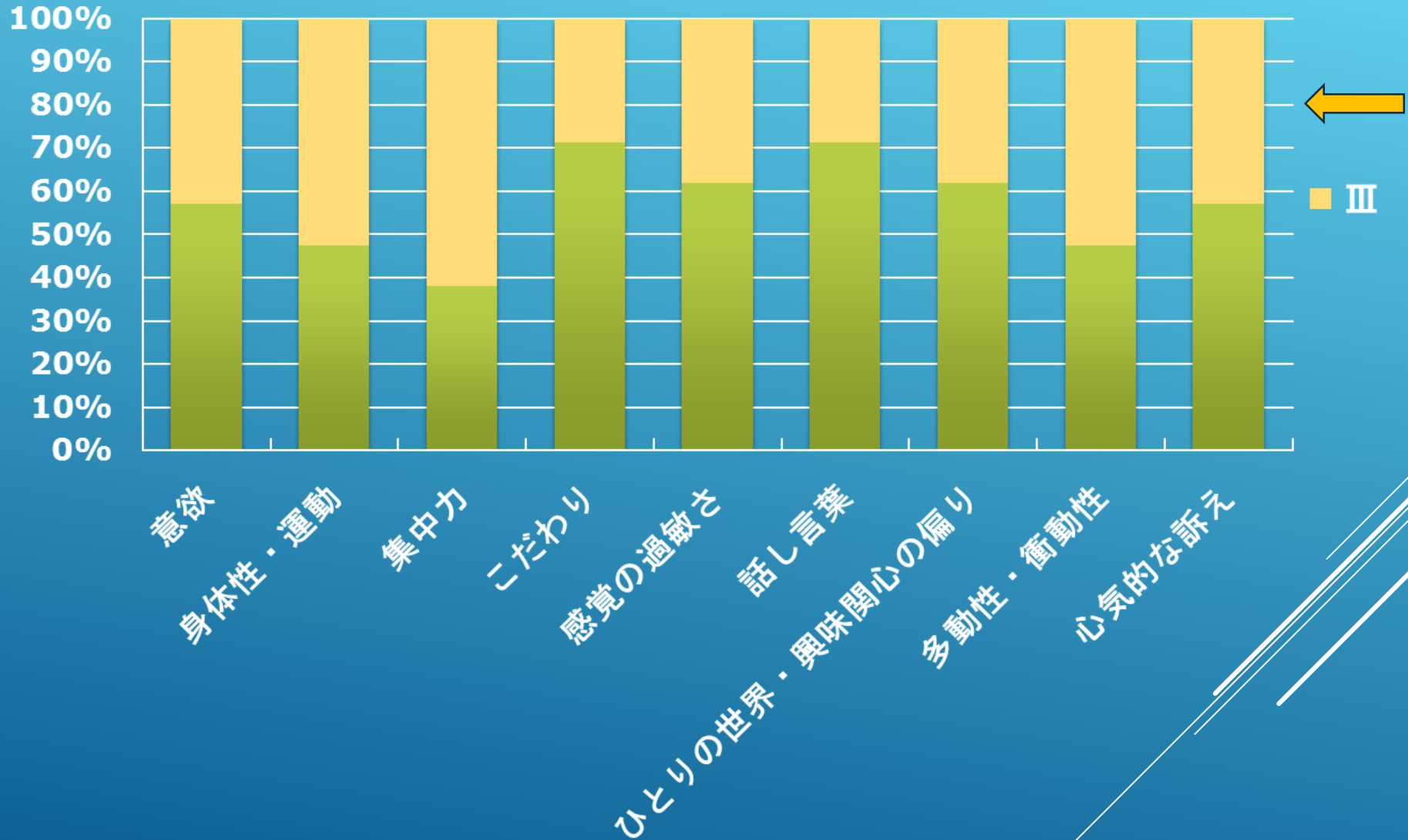
適応スキル

(ASIST学校適応スキルプロフィール)



特別な支援ニーズが必要

(ASIST学校適応スキルプロフィール)

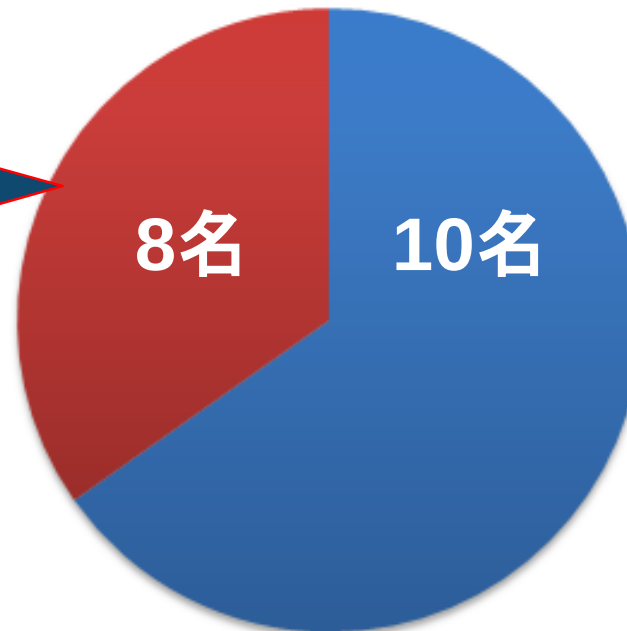


学業面（就学児18名対象）

（ASIST学校適応スキルプロフィール）

「学業において年齢相応の達成ができない」

国語 6名⇒漢字・自由作文
算数 3名⇒計算・文章題
音楽 6名⇒楽器
図工 3名
体育 1名

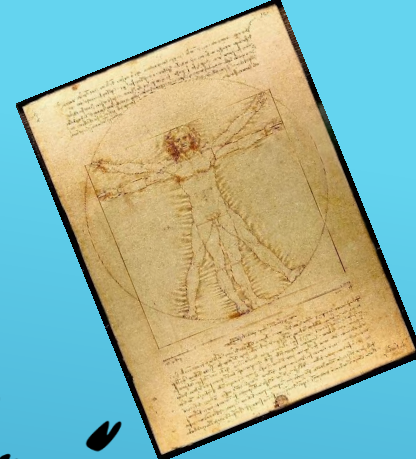
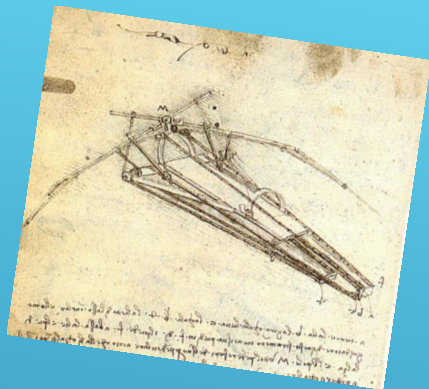


2Eの子供に必要なサポート

- ▶ 就学前：子供の把握→幼稚園、保育園、療育現場でのチェックリストの活用
対応方法の普及、作業療法、言語療法、ペアトレ、SST
- ▶ 小学校低学年：苦手の改善（こだわり、社会性、書字）、いじめからの逃避（転校）、適切な学習場所（支援級、学習支援、塾、フリースクール）
- ▶ 小学校高学年：居場所、同様な子どもとの交流（部活、おたく空間、ネット空間、ギフテッドアカデミー）、ITを利用した苦手の克服、得意を伸ばす教育（能力別クラス、塾、飛び級）
- ▶ 中学校以降：同様の子供達との学校生活、尊敬できる先輩、教師、医師の存在、塾、居場所と興味を広げる（博物館、図書館、研究所、大学、ネット空間でのVR体験と学習）

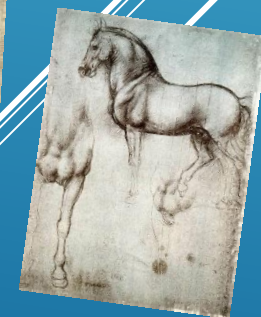
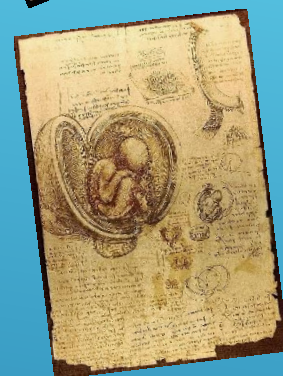
2Eの子供とこれから

- ▶ ギフテッド：IQ＞130は2.3%、発達障害は6.5%とされている。
- ▶ ギフテッドでは発達障害は2-3倍存在するとされており、2Eは0.3-0.45%存在すると思われる
- ▶ 早期発見
- ▶ 早期対応
 - ▶ 医学的対応
 - ▶ 教育的対応
 - ▶ 社会的対応



Leonardo da Vinci

多様性を容認する社会から、2Eの子供達が生き生きと活躍できる場を作って行く。こうして新しい豊かな日本を作って行くことができる





どんぐりと山猫



- ▶ ある秋の土曜日、一郎少年のもとに、下手くそで間違いだらけの文で書かれた怪しいはがきが届くところから物語が始まる。翌日面倒な裁判があり、ぜひ出席してほしいという内容で、差出人は、山猫となっている。一郎少年は、はがきを秘密にして、一人で大喜びする。翌日、一郎は山猫を探しに山へ入る。山猫が登場し、どんぐりが集まってきて裁判が始まる。どんぐりたちは誰が一番偉いかという話題で争っていた。一郎は山猫に、一番ばかでめっちゃめっちゃで、頭のつぶれたようなのが一番偉い、という法話を耳打ちし、知恵をつけて助けてやる。山猫が判決を下すと、一瞬にしてどんぐりたちの争いが解決した。謝礼として、塩鮭の頭と黄金（きん）のどんぐりのどちらかを選ばせ、一郎が黄金のどんぐりを選ぶと白いきのこの馬車で家まで送ってくれる。黄金のどんぐりは色あせて茶色の普通のどんぐりとなり、そして二度と山猫から手紙はこなくなってしまう。
- ▶ トトロの原型になっているのは、宮沢賢治の「どんぐりと山猫」のあるシーン。ぼう然と立っている山猫の足元でどんぐりがキーキー言っているシーンから宮崎監督が受け取った強烈なイメージが、今作「となりのトトロ」のインスピレーションの源になっているのです。宮崎駿監督によると、トトロを描く時は目の焦点を合わせずに“茫洋（ぼうよう）とした表情”にしないと似ないのだそうです。



どんぐり発達クリニック

- ▶ 小さなどんぐりから大きなオークが生まれる
- ▶ TALL OAKs Grow LITTLE ACORNs
- ▶ From little acorns come great oaks
- ▶ Mighty oaks from little acorns grow
- ▶ Du grand chêne de petits glands
- ▶ 从小橡子大橡树
- ▶ من أوك عظيم الجوز قليلاً



Geoffrey Chaucer、1343–1400年

The greatest English poet of the Middle age

ノーベル化学賞受賞の鈴木章と根岸英一教授の恩師ハーバート・ブラウン博士座右の銘

NHKクローズアップ現代(2010年10月13日放送「日本人よ 大志を抱け～ノーベル賞・2人に聞く～」)

参考図書

- ▶ 宮尾益知、自分をコントロールできない子どもたち、講談社、2000
- ▶ 宮尾益知編、ADHD/LD/高機能PDDのみかたと対応、医学書院、2007
- ▶ 宮尾益知、発達障害をもっと知る本、教育出版、2007
- ▶ 宮尾益知、アスペルガー症候群、日東書院、2008
- ▶ 宮尾益知編、障害児の理解と支援 臨床の現場へ、駿河台出版、2008
- ▶ 宮尾益知監修、アスペルガー症候群 治療の現場から、出版館ブッククラブ、2009
- ▶ 宮尾益知監修、金子晴恵著、はるえ先生とドクターMの苦手攻略大作戦、教育出版、2010
- ▶ 宮尾益知監修、発達障害の治療法がよくわかる本、講談社、2010
- ▶ 宮尾益知、大人のアスペルガー症候群、日東書院、2010
- ▶ 野波ツナ、宮尾益知監修、旦那さんはアスペルガー I、II、III、IV、V、VI、VII コスミック出版、2011-6
- ▶ 宮尾益知、発達障害と情緒障害の子どもの能力を家族全員で伸ばす!、2012、日東書院
- ▶ 大橋ケン、宮尾益知等、発達障害のある子の世界 ごもっくんはASD(自閉症スペクトラム障害)。明石書店、2013
- ▶ 宮尾益知+、家族をラクにする魔法の言葉、2013、飛鳥新社
- ▶ 宮尾益知編、ADHD/LD/高機能PDDのみかたと対応、韓国版、2013
- ▶ 宮尾益知、谷和樹、医師と教師が発達障害の子どもたちを変化させた(ドクターと教室をつなぐ医教連携の効果 第1巻、第2巻)、学芸みらい社、2014、2015、2016
- ▶ 宮尾益知監修、発達障害の親子ケア 親子どちらも発達障害だと思ったときに読む本(健康ライブラリー)、講談社、2015
- ▶ 宮尾益知監修、女性のアスペルガー症候群(健康ライブラリーイラスト版)、講談社、2015
- ▶ 宮尾益知監修、アスペルガーとその愛、二人で生きていくために、東京書籍、東京書籍、2015

参考図書

- ▶ 宮尾益知監修、女性のADHD（健康ライブラリーイラスト版）講談社、2015
- ▶ 宮尾益知監修、家族のためのアスペルガー症候群とのつきあい方—知っていればお互いラクになる（COSMIC MOOK） コスミック出版、2015
- ▶ 宮尾益知監修、子どものADHD早く気づいて親子がラクになる本（小児期編）、河出書房新社、2016
- ▶ 宮尾益知監修、子どものADHDを早く見つける本 早く見つけて親子がラクになる本（思春期編）、河出書房新社、2016
- ▶ 宮尾益知、滝口のぞみ、夫がアスペルガーと思ったときに読む本、河出書房新社、2016
- ▶ 宮尾益知、女の子の発達障害、河出書房新社、2017
- ▶ 宮尾益知、女性の発達障害、河出書房新社、2017
- ▶ 宮尾益知、女性のADHD：診断から治療まで、思春期以降のADHD、教育と医学、763：24-33、2017
- ▶ 宮尾益知、部下がアスペルガーだったとき上司が読む本、河出書房新社、2017
- ▶ 宮尾益知、職場の発達障害、河出書房新社、2017
- ▶ 宮尾益知、橋本主次、発達障害のリハビリテーション、多職種連携のすべて、医学書院、2017
- ▶ 桃井真理子、宮尾益知など、ベッドサイドの小児神経学、南山堂、2017
- ▶ 宮尾益知、母と発達障害を持つ子のつきあい方、河出書房新社、2017
- ▶ 宮尾益知、発達障害の基礎、河出書房新社、2017
- ▶ 宮尾益知、大人の発達障害 生活編、河出書房新社、2017
- ▶ 宮尾益知、夫婦の危機は発達障害が原因かもしれない、河出書房新社、2017
- ▶ 宮尾益知、お母さんがこれだけは知っておきたい 発達障害の基礎知識、河出書房新社、2017
- ▶ 宮尾益知、コミックでわかる特例子会社の仕事の進め方、河出書房新社、2018
- ▶ 宮尾益知、発達障害と仕事1-3、単行本、河出書房新社、2018
- ▶ 宮尾益知、カサンドラのお母さんの悩みを解決する本：発達障害の夫に振り回されないために、河出書社2018
- ▶ 心のお医者さんに聞いてみよう この先どうすればいいの？ 18歳からの発達障害 「自閉症スペクトラム症」への正しい理解と接し方、大和出版、2018
- ▶ 宮尾益知、発達障害のお友だち、河出書新社、2018
- ▶ 宮尾益知、瀧口のぞみ、アスペルガータイプの夫と生きていく方法がわかる本“カサンドラ症候群”の悩みから抜け出す9つのヒント(心のお医者さんに聞いてみよう) 大和出版、2019